

大津企業景況調査報告書

(第73回)

平成28年 4月～ 6月期 実績

平成28年 7月～ 9月期 見通し

大津商工会議所

大津企業景況調査について

(平成28年4月～6月期)

1. 調査方法

大津商工会議所会員企業 100 社に F A X 方式による調査

2. 調査企業

産 業 別	調査対象企業数	有効回答企業数	回 収 率
建 設 業	20社	13社	65.0%
製 造 業	10社	8社	80.0%
卸 売 業	10社	7社	70.0%
小 売 業	30社	18社	60.0%
サービス業	30社	23社	76.6%
合 計	100社	69社	69.0%

3. 調査期間

調査対象期間は平成28年4月～6月とし、調査時点は平成28年6月6日とした。

4. 調査データについて

調査の結果を示す指数として DI 指数を採用した。DI 指数とは Diffusion Index (景気動向指数)の略で、各調査項目について、「増加」・「好転」したなどとする企業割合から「減少」・「悪化」したなどとする企業割合を差し引いた数値である。

「業況」、「売上高」、「採算(経常利益)」、「従業員」の DI 指数は、前年同期との比較である。

「資金繰り」、「資金借り入れの難易度」の DI 指数は、3ヵ月前との比較である。

「取引の問合せ」、「採算(経常利益)の水準」の DI 指数は、過去比較でなく水準を聞いたものである。

景況感は足踏み続き、先行き悪化を見込む

平成 28 年 4 月～6 月期の大津企業景況調査の結果がまとまった。調査結果を示す指数として DI 指数（景気動向指数）を採用している。DI 指数は実数値などの上昇率を示すものでなく、強気、弱気などの経営者マインドの相対的な広がりの意味する。

全体

景況感は、全体の業況判断 DI（前年同期比）が 1 年半以上▲10 前後で足踏み状態が続いている。前回調査の 4～6 月期見通し▲6 を今回▲16 と下回り、景気回復へのもたつきが鮮明になっている。業種別では、前四半期にプラスに転じたサービス業がインバウンド（訪日外国人）消費の減速等によりマイナスになったのを含め全業種が前年よりマイナスとなった。

先行きの業況判断 DI は▲22 と悪化を見込んでいる。業種別では、製造業が前年比プラス、卸売業が前年並みを見込む他は全てマイナスで、特に受注減少、採算悪化している建設業は▲46 と大幅悪化を見込んでいる。今般発生した英国の EU 離脱問題や円高の影響が現れるのはこれからで、景気のもたつきが長引くことが懸念される。

□ 業況判断 DI（前年同期比）は、景況感の足踏み続く

「前年同期比でみた業況判断 DI(全体)」（「好転」－「悪化」）は、1 年半以上▲10 前後で足踏み状態が続いている。前回調査の見通し▲6 を今回▲16 と下回り、景気回復へのもたつきが鮮明になった。業種別では、前四半期にプラスに転じたサービス業がインバウンド消費の減速等によりマイナスになったのを含め全業種が前年比マイナスとなった。

□ 売上 DI（前年同期比）は、前年比マイナスが続く。サービス業もマイナスに

「前年同期比でみた売上 DI(全体)」（「増加」－「減少」）は、前四半期と同じく今四半期も▲10 で前年比マイナスが続いている。業種別にみると、製造業、卸売業が前年並みになったが、サービス業がインバウンド消費の減速等から前年比マイナスになったのを含め他の業種は前年比マイナスである。

□ 採算 DI（前年同期比）は、前年比悪化が続く

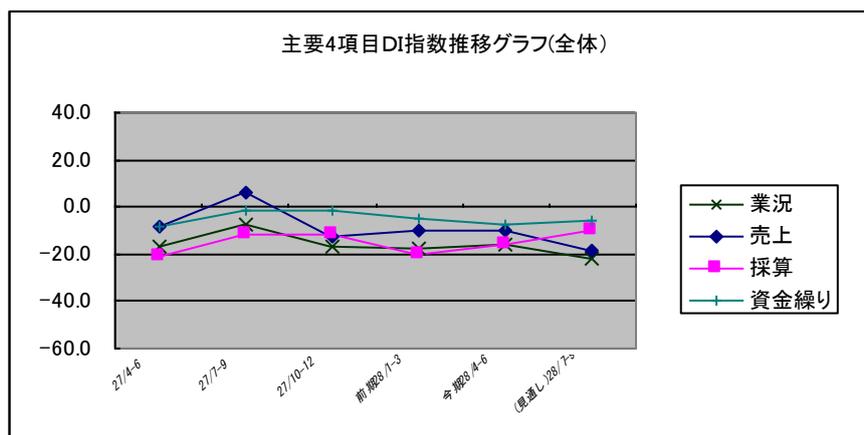
「前年同期比でみた採算（経常利益）DI(全体)」（「好転」－「悪化」）は、前四半期▲21 から今四半期▲16 と悪化が続いている。業種別にみると、卸売業が採算水準も良化し、採算も前年並みであるが、他の業種は前年比悪化が続いている。

□ 資金繰り DI（3 ヶ月前比）は、前四半期からやや悪化

「3 ヶ月前比でみた資金繰り DI(全体)」（「好転」－「悪化」）は、前四半期の▲5 から今四半期▲7 とやや悪化した。業種別にみると、建設業を除くすべての業種で悪化している。

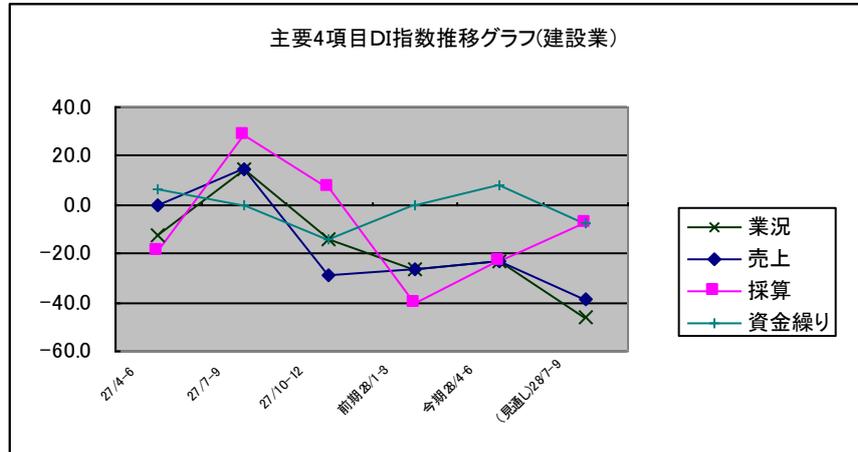
□ 従業員 DI（前年同期比）は、前年比人員不足がやや緩和。建設業では余剰になる

「前年同期比でみた従業員 DI(全体)」（「不足」－「過剰」）は、前四半期の+17 が今期+10 と人員不足感は緩和された。業種別にみると、受注減少している建設業で人員が余剰になっており、卸売業では適正人員になっているが、他の業種では依然人員不足が続いている。



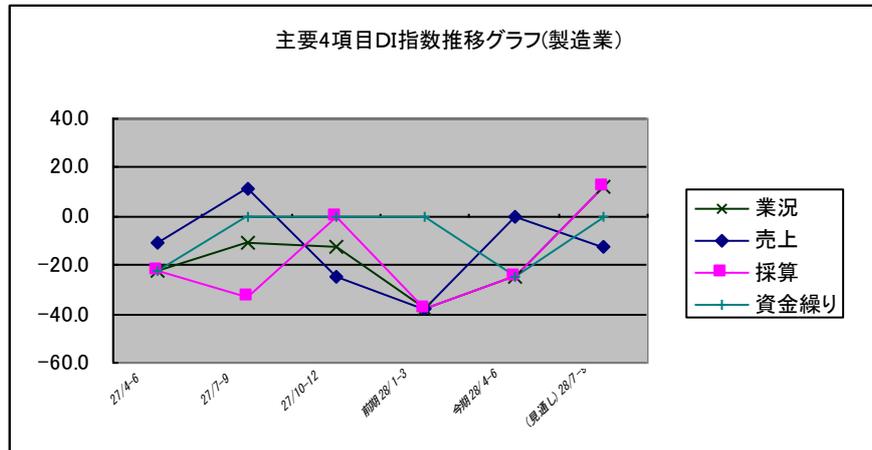
建設業

DI 指数をみると、「業況」は前四半期の▲27 が今四半期は▲23 と悪化が続いている。個別指標をみると「売上」が前四半期の▲27 から今四半期▲23 と減少が続き、「採算」は▲40 から▲23 と悪化が続いている。「問い合わせ」も▲27 から▲23 と低調である。このことから「従業員」が+27（不足）から一転して▲15（余剰）に転じた。



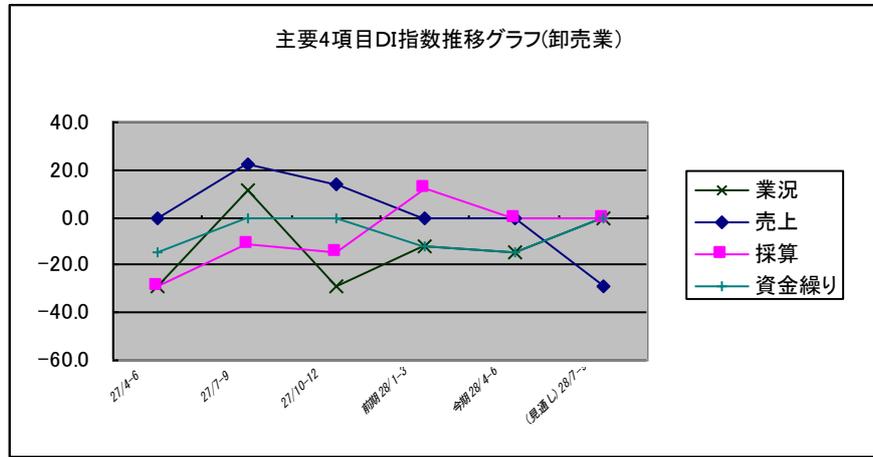
製造業

DI 指数をみると、「業況」は前四半期▲38 から今四半期は▲25 と悪化幅が縮小した。個別指標をみると「売上」は前四半期の▲38 から今四半期±0 と良化し、「採算」も前四半期の▲38 から今四半期▲25 と改善している。その結果、「従業員」はまた不足感が出ている。



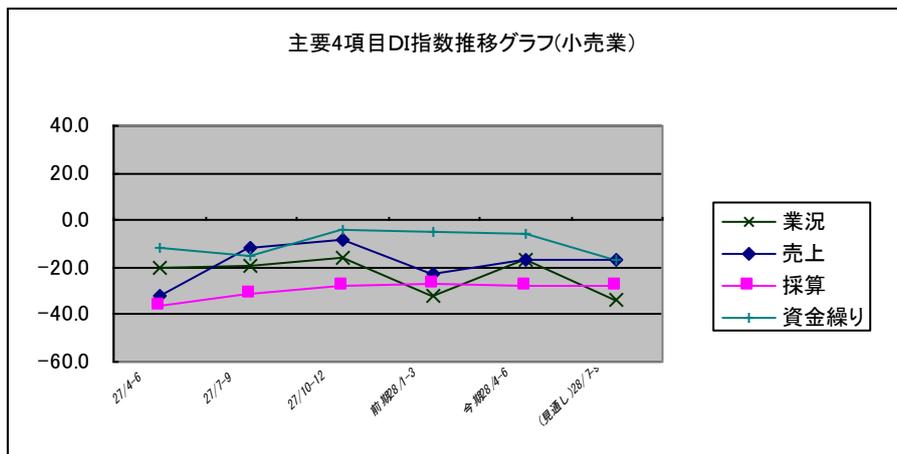
卸売業

DI 指数をみると、「業況」は前四半期の▲13 から今四半期は▲14 とマイナスで推移している。個別指標をみると「売上」は前年並みが続いており、「採算」も前年並みになっている。「従業員」の不足感は解消した。



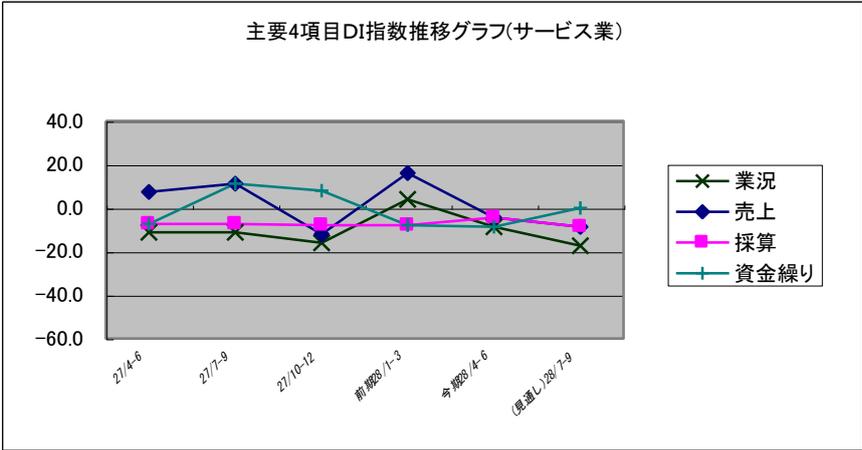
小売業

DI 指数をみると、「業況」は前四半期の▲32 から今四半期は▲17 と改善したもののマイナスが続いている。個別指標をみると「売上」は前四半期の▲23 から今四半期は▲17 と改善したが、「採算水準」は▲22 と赤字が続いている。年初からの円高、株安等で経済の先行き不安から消費者が消費行動に慎重になっていること等によるものと思われる。



サービス業

DI 指数をみると、「業況」は前四半期に+4 と好転したが今四半期は▲9 とまたマイナスに転じた。個別指標をみると「売上」は前四半期+16 と増加に転じたが今四半期は▲4 とまた減少に転じ、「問い合わせ」が大幅に減少している。インバウンド（訪日外国人）消費の減速等によるものとみられる。



来四半期（3ヵ月後）の「業況」DIは、今四半期の▲16 から▲22 と6ポイント悪化すると見込んでいる。

個別指標をみると、「売上」が減少し「採算」の悪化が続くと見込んでいる。業種別では、製造業は採算が改善して業況が好転すると見込んでおり、卸売業は前年並みを見込んでいるが、その他の業種は全て悪化を見込んでいる。特に受注減少、採算悪化している建設業では、▲46 と大幅悪化を見込んでいる。今般発生した英国のEU離脱問題や円高の影響が現れるのはこれからで、景気のもたつきが長引くことが懸念される。

3ヵ月後の設備投資については、設備投資計画があると回答した企業の割合は全体で前四半期から2ポイント増加して29%である。業種別にみると、製造業が最も高く50%、建設業が31%、小売業が28%、サービス業が26%である。投資企業の投資内容の割合は、「更新投資」が50%で最も多く、「合理化・省力化」が21%である。投資方針は、投資内容から「計画通り」が50%と高くなっているが、景気の動向次第では、変化する可能性がある。

田中マネジメント事務所
MBA・中小企業診断士 田中清行

(今の経済情勢に対する意見)

以下は、今の経済情勢に対する意見である。

- 目的も方法も違う政党が、結果のために、あいまいに協調する。同じように消費においても「とりあえず」で、利便性が決定に影響する。良し悪しではなく、そういう時代の経済情勢と思います。(小売業)
- 伊勢志摩サミット、参議院選挙(同時選挙)、消費税値上の不安定化等の要因なのか、総じて景気の足ぶみ状態になっているのではないか。(サービス業)
- 自動車関連の事務業務が主だが、①自然災害 ②世界経済 ③改ざん問題 が売上を直撃する。(サービス業)
- 業者登録、保険等経費のかからない業者の参入が多くなってきている。(建設業)
- 熊本地震による「瓦」のイメージ悪化を心配したが、耐震リフォーム、特に「軽い屋根」を作る要望がふえた。「軽い瓦」の販売に力を入れる。(建設業)

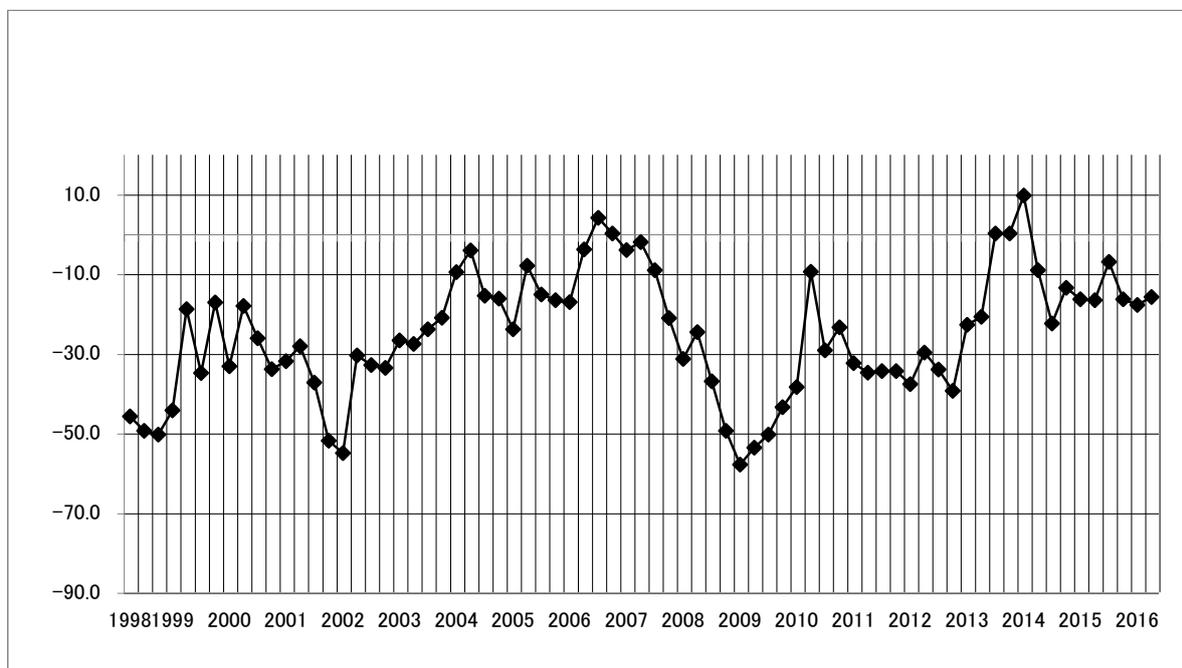
DI 指数一覧表

	業 況		売 上 高		採 算 (経常利益)	
	4-6 月期 動 向	7-9 月期 見 通 し	4-6 月期 動 向	7-9 月期 見 通 し	4-6 月期 動 向	7-9 月期 見 通 し
全 体	▲15.9	▲21.7	▲10.1	▲18.8	▲15.9	▲10.1
建 設 業	▲23.1	▲46.2	▲23.1	▲38.5	▲23.1	▲7.7
製 造 業	▲25.0	12.5	0.0	▲12.5	▲25.0	12.5
卸 売 業	▲14.3	0.0	0.0	▲28.6	0.0	0.0
小 売 業	▲16.7	▲33.3	▲16.7	▲16.7	▲27.8	▲27.8
サービス業	▲8.7	▲17.4	▲4.3	▲8.7	▲4.3	▲8.7
	3ヶ月前との比較		3ヶ月前との比較		3ヶ月前との比較	

	採算 (経常利益) の水準		取引の問い合わせ		従 業 員	
	4-6 月期 動 向	7-9 月期 見 通 し	4-6 月期 動 向	7-9 月期 見 通 し	4-6 月期 動 向	7-9 月期 見 通 し
全 体	0.0	7.2	▲26.1	▲23.2	10.1	5.8
建 設 業	0.0	15.4	▲23.1	▲30.8	▲15.4	▲23.1
製 造 業	0.0	0.0	12.5	12.5	25.0	12.5
卸 売 業	28.6	28.6	▲28.6	▲28.6	0.0	0.0
小 売 業	▲22.2	▲5.6	▲22.2	▲22.2	22.2	16.7
サービス業	8.7	8.7	▲43.5	▲30.4	13.0	13.0
	3ヶ月前との比較		3ヶ月前との比較		3ヶ月前との比較	

	資金繰り		長期資金借入難易度		短期資金借入難易度	
	4-6月期 動向	7-9月期 見通し	4-6月期 動向	7-9月期 見通し	4-6月期 動向	7-9月期 見通し
全体	▲7.2	▲5.8	▲4.3	▲2.9	▲5.8	▲2.9
建設業	7.7	▲7.7	7.7	0.0	7.7	7.7
製造業	▲25.0	0.0	▲12.5	▲12.5	▲12.5	▲12.5
卸売業	▲14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
小売業	▲5.6	▲16.7	0.0	▲5.6	▲5.6	▲5.6
サービス業	▲8.7	0.0	▲13.0	0.0	▲13.0	▲4.3
	3ヶ月前との比較		3ヶ月前との比較		3ヶ月前との比較	

本調査開始（1998年 第二四半期）以降 業況DI指数推移グラフ（全体）



※縦目盛り軸は、全業種の業況DI指数を表しています。横目盛り軸は、調査年を西暦で表しています。

大津商工会議所

〒520-0806

滋賀県大津市打出浜 2 番 1 号

コラボしが 21 9 階

TEL : 0 7 7 - 5 1 1 - 1 5 0 0

FAX : 0 7 7 - 5 2 6 - 0 7 9 5

URL <http://www.otsucci.or.jp/>